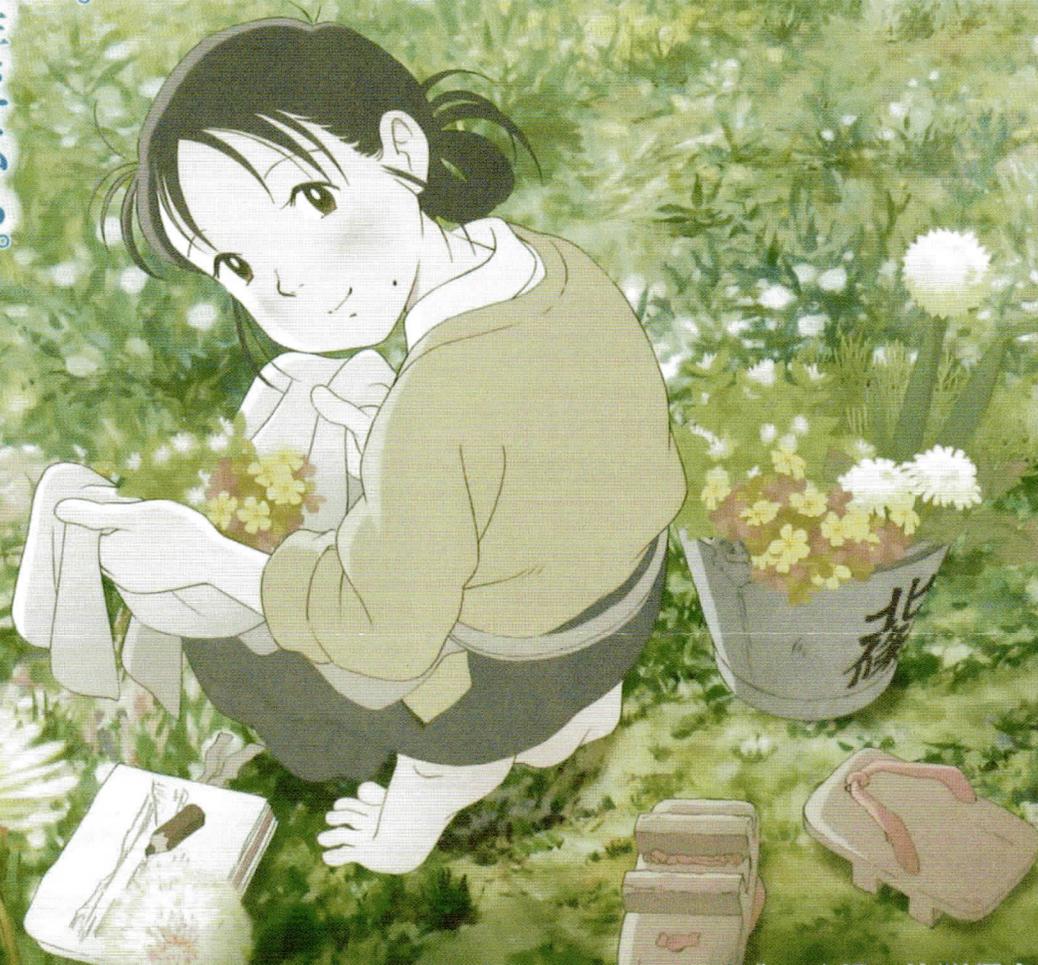


第12回 名画を楽しむ越谷市民の会上映会

この世界の片隅に

昭和20年、広島・呉。  
わたしはここで生きている。



主演：のん 原作：こうの史代(双葉社刊) 音楽：コトリンゴ 監督：片渕須直

日本中の想いが結集! 100年先も伝えたい、珠玉のアニメーション

[konosekai.jp](http://konosekai.jp)

©この史代・双葉社/「この世界の片隅に」制作委員会



8月7日(火) サンシティ越谷小ホール

① 14:00~16:10 (開場は30分前) ※定員490人です。※日本語字幕付き上映



## すずさんの世界を彩る女優・のん、音楽・コトリンゴ

主人公すずさんを演じるのは女優・のん。片渕監督が「ほかには考えられない」と絶賛したその声でやさしく、柔らかく、すずさんに息を吹き込みました。本作の音楽はコトリンゴが担当。ナチュラルで柔らかい歌声と曲想が、すずさんの世界を優しく包みこみます。



## 監督・片渕須直 × 原作・この史代 —信頼しあう2人のタッグ 再び—

監督は片渕須直。徹底した原作追及、資料探求、現地調査、ヒアリングを積み重ね、すずさんの生きた世界をリアルに生き活きと描き出した本作には紛れもなく今の私たちの毎日に連なる世界があります。

原作はこの史代。第13回メディア芸術祭マンガ部門優秀賞ほか各メディアのランキングでも第1位を獲得。綿密なリサーチによる膨大な情報と、マンガ表現への挑戦がさりげなく織り込まれており、その創作姿勢と高い完成度から多くのマンガファン・書店員から熱い支持を得ています。NHK『花は咲く』アニメ版でタッグを組んだ2人が再び結集し、新たな感動をお届けします。

## STORY

1944(昭和19)年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へとお嫁に行くことになる。新しい家族には、夫・周作、そして周作の両親や義姉・径子、姪・晴美。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日の暮らしを積み重ねていく。

1945(昭和20)年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。

そして、昭和20年の夏がやってくる——。



### のん

細谷佳正 稲葉菜月 尾身美詞

小野大輔 潘めぐみ 岩井七世 牛山茂 新谷真弓/澁谷天外(特別出演)

原作：この史代「この世界の片隅に」(双葉社刊) / 企画：丸山正雄

監督補・画面構成：清谷千恵 キャラクターデザイン・作画監督：松原秀典 / 美術監督：林孝輔 / 音楽：コトリンゴ  
プロデューサー：真木太郎 / 監督・脚本：片渕須直

製作統括：GENCO / アニメーション制作：MAPPA / 配給：東京テアトル / 製作：「この世界の片隅に」製作委員会  
助成：文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金

konosekai.jp @konosekai\_movie @konosekai.movie

©この史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会



## 第12回 名画を楽しむ越谷市民の会 上映会

# 8月7日(火) サンシティ越谷小ホール

①14:00~16:10 ※開場は30分前、定員490人です。日本語字幕付き上映

★前売券1,000円(当日:一般1,200円、シニア(60歳以上)・大学生1,000円、小中高校生 障がい者800円)

■主催/名画を楽しむ越谷市民の会 ●お問合わせ/山田 048-989-1320

東武スカイツリーライン  
新越谷駅、JR武蔵野線  
南越谷駅より徒歩3分